

当社の社員が認定 NPO 法人タートル情報誌「タートル 33 号」へ記事を寄稿しました。



こんにちは、ジェイリース社員の奥澤です。
認定 NPO 法人タートル様の情報誌へ、この度記事を寄稿いたしました。
内容は、大分県初のヘルスキーパー制度導入企業として弊社の取り組みを中心としています。
是非、ご覧くださいませ。

※認定 NPO 法人（認定特定非営利活動法人）タートル様とは、視覚障がい者当事者が主体となって活動している団体であり、就労継続・支援などに取り組んでいます。

【職場で頑張っています】

『大分県初のヘルスキーパー制度導入企業として』

会社員 会員 奥澤 優耶（おくざわ ゆうや）

■はじめに

タートル情報誌をご覧の皆様、こんにちは。は会員の奥澤です。

私が昨年8月に入社し、現在事務職として働かせていただいている会社（ジェイリース株式会社）が、大分県の企業としては、初めてヘルスキーパー制度を導入、実施いたしましたので、ご紹介させていただきます。

まず、私とタートルの出会いは、2012年夏に開催された、ロービジョン相談会でした。相談会では私の目の状況や悩み等についてお伝えし、どのように工夫すれば解決するか等アドバイスをいただきました。また、国立障害者リハビリテーションセンターや国立職業リハビリテーションセンター等の訓練施設の情報も教えていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。

相談会を通して、私の人生はより良い方向へ動き出したと感じています。

次に私の目の状況についてご説明いたします。

私は2011年12月頃から目が見えにくくなりました。現在の見え方は両眼共に中心がまったく見えなく、中心以外の周辺視野はぼんやりと見えています。視力は、右目

0.01・左目手動弁です。病名は「レーベル病」で、障害者手帳は2級です。

いわゆる視覚障害者となってからは、下記の経歴となっています。

- ① 2012年8月 国立障害者リハビリテーションセンター自立訓練 入所
- ② 2013年4月 国立職業リハビリテーションセンター OAシステム科 視覚障害者情報アクセスコース 入所
- ③ 2014年8月 ジェイリース株式会社 入社
- ④ 2015年9月現在 会社員（事務職）として奮闘中

■仕事について

続きまして、私（奥澤）の仕事についてご紹介させていただきます。

現在、総務課に所属しております。

業務で使用している支援機器は次の2つです。

- ① スクリーンリーダー（画面読み上げソフト）「JAWS14.0」
- ② 点字ディスプレイ「ブレイルメモスマート40」

※その他では、「点字板」でメモを取ることや、「プレクストーク」で会議等を録音する場合もございます。

また、国リハ・職リハの訓練で学んだスキルを生かして、集計業務（エクセル使用）や会議の報告書作成（ワード使用）、お知らせ業務（社内イベントや防災訓練等の告知）等の業務に取り組んでいます。

いただいている業務の中で特にやりがいを感じている内容は、「Health-care Room」の運営業務です。具体的には、ヘルスキーパーと連携して、施術料の集計、利用促進

や稼働率向上の検討をしております。決定事項については、1つ1つ実行し、進めております。ちなみに、郵便局へ簡易書留を出しに行くこともございます。（歩行訓練を実施し、一人で行けるようになりました）

また、エクセル・ワード以外で使用しているパソコン機能（ソフト）は、OUTLOOK2010（メール）やメモ帳でして、使用頻度が高いです。

社内で工夫していることにつきましては、自分でできる部分、サポートが必要な部分を自分の中で把握し、適宜対応できるよう心掛けております。例えば、画像データは上司へ代読していただき、音声（「JAWS14.0」）や点字（「ブレイルメモスマート40」）で対応できる作業は、自分でこなすようにしております。

次に、入社して苦労したことは、社内グループウェアへの対応です。社内グループウェアは、国リハ・職リハで特に操作方法を学んでいなかったため苦労しました（しています）。ただ、職リハの指導員（先生）よりサポートをいただいたり、社内では「奥澤さんのペースで進めて良いですよ」と声をかけていただくなど環境にも恵まれ、1つ1つ課題をクリアしております。今後も、課題を1つ1つクリアしていき、サラリーマン生活を充実させていきたいと考えております。

※国リハとは、国立障害者リハビリテーションセンターの略称です。

※職リハとは、国立職業リハビリテーションセンターの略称です。

※「Health-care Room」については、項目「**■ヘルスキーパー制度導入について**」にてご紹介させていただきます。

■ジェイリース株式会社について

ヘルスキーパー制度のご紹介の前に、弊社についてご紹介いたします。

設立は2004年で、12年目（2015年9月現在）の会社です。本社は、大分と東京の2本社体制としており、全国に18店舗展開しています。業種は、賃貸不動産における家賃債務保証業で、実務内容は次のとおりです。

アパートやマンションを借りている入居者様が急な出張やご病気等によりお家賃を支払うことができなかつた際、入居者様に代って、オーナー様へお家賃の立替え払いをする。弊社は、住まいの安心サポーターとして、社会の安定と発展に貢献するサービスを提供しています！

社員数は約300名で、法定雇用率は達成しています。

また、地域密着をモットーとしており、サッカーチームの大分トリニータ・大分トリニータレディースのユニフォームスポンサーをしています。

子会社には、不動産業を行っている「あすみらい株式会社」があります。

弊社社長の中島は視覚障害者の就労について理解があり、積極的に視覚障害者の雇用を進めてきました。結果として、現在3名の視覚障害者社員が働いています。私は3名のうちの一人として、社長には大変感謝しております。

■ヘルスキーパー制度導入について

いよいよ本題のヘルスキーパー制度についてご紹介いたします。

2015年4月、大分県立盲学校より2名ヘルスキーパー社員を雇用しました。ヘルス

キーパー社員の雇用に至るまでには、どのような支援機器を準備すれば良いのか、どこで会社説明会をすれば良いのか等、何度も社内で打ち合わせをしました。私も、国立職業リハビリテーションセンターや大分県立盲学校で会社説明会をさせていただいたり、視覚障害者が使用する支援機器の情報等を上司へお伝えしたりと、ヘルスキーパー制度導入に関わらせていただきました。

そして、たくさんの団体様のご協力があり、雇用を実現できました。

ご協力先をご紹介させていただくとともに、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

- ・ 認定NPO法人タートル
- ・ 大分県立盲学校
- ・ 大分高齢・障害者雇用支援センター
- ・ 大分障害者職業センター
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター
- ・ 国立職業リハビリテーションセンター
- ・ その他ご協力いただきました企業の皆様

肝心のマッサージ室（弊社では、「Health-care Room」と呼んでいます）ですが、2015年6月にオープンし、現在稼働中です。

※2015年4月からオープンまでの期間につきましては、運用方法の検討やベッドの購入等オープンに必要な準備をしていました。

オープン以後社内で好評いただいております、ご利用していただいた患者さんから、「身体が楽になりました」「リラックスできました」

「是非、また利用したいです」とコメントをいただいております。

続きまして、「Health-care Room」の運営詳細をご紹介します。

営業時間：10時～17時

コース料金：15分300円、30分500円

就業時間内利用：可

また、ヘルスキーパー社員は、「社員の健康管理」「福利厚生充実」という役割を担っています。下記、ヘルスキーパー社員よりコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

Tさん（男性）

ヘルスキーパーとして、社員の方々に少しでもリラックスしていただけるようマッサージを行っています。分からないこともあります。ですが、「マッサージしてもらったら体の調子がいい」など声をかけていただき、社員の方々と距離が近いのもヘルスキーパーならではの思いです。まだ知名度の低いヘルスキーパー制度ではありますが、とてもやりがいのある仕事なので、今後日本全国へ広まってほしいです。

Oさん（女性）

大分県初のヘルスキーパーということで、多くの方々に協力して頂き「Health-care Room」を開設する事が出来ました。まだ運営は手探りの状態ですが、社員の方々に「気持ち良かった、楽になった」と言ってもらえるのはとても嬉しく、やりがいを感じます。これからも多くの社員の方々に来室頂き、健康管理の面から会社に貢献していきたいと思っております。

■大分から全国へ！

弊社は、大分県で初のヘルスキーパー制度導入企業です。弊社の事例をきっかけとして、全国の企業様が、よりヘルスキーパー制度を導入していただけたらと願っています。

また、これまでに「大分合同新聞様」「日本経済新聞様」から取材を受け、メディアにも取り上げていただきました。

ヘルスキーパー社員を雇用することは視覚障害者の就労問題の解決に繋がります。そして、社員の健康管理や福利厚生の実施にも繋がります。ヘルスキーパー制度は、視覚障害者と企業の双方にとってプラスの効果があります。

プラスの効果を更に拡大していけるよう、「Health-care Room」を育てていきたいと思っております。

■終わりに

今回、認定NPO法人タートル情報誌へ寄稿させていただき、大変感謝しております。原稿の加筆・修正にご協力いただきました方々へ心より感謝申し上げます。

末筆ではございますが、今後も認定NPO法人タートル様のご発展とご活躍を心よりお祈りしております。

